

## 海外新着情報（5月更新）

海外新着情報では、神奈川県との協力による海外駐在員との連携の中で得た「海外での企業活動の現状に関する情報」をご案内します。

### ○ 中国

#### ・一般市民の新型コロナワクチンの接種開始（外国人を除く）～中国・大連市～ (2021年4月21日)

大連市政府は4月20日、新型コロナウイルスの中国製ワクチン接種対象者を一般市民に拡大することを発表しました。大連市に居住する18歳以上の中国籍の人が対象で、費用は無料。（強制ではありません。）

現在、予防接種は2回必要とされており、初回の接種から3週間以上8週間以内に2回目を接種する必要があります。20日の時点で既に117万回の接種が終了しており、この先1か月間の中で300万回、1日最大20万回の接種体制を構築するとのこと。

市内では医療機関や学校、大型施設、バスなどによる移動式の臨時接種所が各地で設置されるとともに、予約方法や接種可能場所の情報が配信されており、多くの中国人が自主的に接種を受けている様子がSNSを通じて確認されています。

### ○ 東南アジア地域

#### ・新型コロナウイルスの感染拡大 ～ タイ・バンコク ～ (2021年4月22日)

タイでは、4月初旬より再び新型コロナウイルスの感染が拡大し、事実上の第3波が到来しています。タイ政府は、全77都県の管理区分を新型コロナウイルスの感染動向に応じて再分類し、4月18日から最短14日間の適用で、社会・経済活動の制限を再び強化しています。首都バンコクを含む18都県が、「高度管理地域」に引き上げられました。

全77都県で学校や教育機関が閉鎖され、原則50人以上が参加する活動が禁止されています。また、娯楽施設を閉鎖し、飲食店での酒類の提供が禁止され、ショッピングモールなどの商業施設は、営業時間を午後9時までとしています。

都県をまたがる越境移動は制限されていないが、自粛が呼びかけられ、また、民間企業には在宅勤務や交代勤務への協力が求められています。

・行動制限を5月3日まで延長 ～ インドネシア ～

(2021年4月21日)

インドネシア政府は 19 日、新型コロナウイルス対策として実施している小規模行政単位の行動制限（PPKM）を5月3日まで2週間延長すると発表しました。

○ 北米地域情報

・米国ニューヨーク州が海外からの移動規制を緩和

～ 米国・ニューヨーク ～ (2021年4月19日)

米国ニューヨーク州政府は、米国内からニューヨーク州へ移動する人に加えて、4月10日以降、海外からニューヨーク州に渡航する人に対しても（州に入った後の）検査・自主隔離が義務ではなくなりました。

ただし、ニューヨーク州では CDC の勧告に従って、完全にワクチン接種を済ませていない人や過去3か月の間に新型コロナウイルスに感染し回復していない人については、引き続き検査や自主隔離を推奨しています。

米国内の各州政府は、これまで移動制限を課してきましたが、ワクチン接種が進んでいることなどから規制を撤廃する動きが加速しています。